

令和2年度版 『会津若松市の環境』

～第2期環境基本計画 令和元年度実績報告～

環境フェスタ



市民環境教室 再エネバスツアー



土・水・緑 そして人
共に創るスマートなまち
会津若松



鶴ヶ城野鳥観察会



猪苗代湖ヨシ刈り

会津若松市

はじめに

本市では、環境に良い取組の「道しるべ」となる「会津若松市第2期環境基本計画」を平成26年3月に策定し、各種環境施策を推進しています。

本書は、令和元年度の本市の環境の現状と環境基本計画に基づく環境施策の実績についてまとめたものです。

本書を通じて、環境に対する関心を高め、理解を深めていただくとともに、自然と歴史に彩られた会津若松市の豊かな環境を将来に引き継いでいくため、市民・事業者の皆様と市役所が連携し、具体的な行動をするための「かけ橋」として活用していただければ幸いです。

会津若松市環境基本条例 前文

わたしたちのまちには、雄大な自然と史跡若松城跡に代表される豊富な歴史的文化遺産の中で、今日まで着実な発展を続けてきた。

しかしながら、近年の都市化の進展や生活様式の変化等に伴い、本市においても新たな課題として都市型及び生活型公害の発生や廃棄物の増加及び不法投棄等の問題が顕在化してきており、さらに、元来自然が持つ浄化能力を上回る生産活動や消費活動そのものが直接、間接に地球規模で環境に影響を与えていることから、新たな対応が求められている。

健全で恵み豊かな環境の下に、健康で文化的な生活を営むことは市民の権利であり、わたしたちは、この良好な環境を保全及び創造し、将来の世代に継承していくべき責務を有している。

このような認識の下、市民、事業者及び行政のすべての者の協力と働きかけによって、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築し、人と自然が共生できる会津若松市の実現を目指し、この条例を制定する。

令和2年度版『会津若松市の環境』 目次

第1章 会津若松市の概況

会津若松市の概況

1 地 勢	1
2 人口等	1
3 交 通	1
4 気 候	
(1) 年間平均気温・日照時間・降水量	2
(2) 年間降雪日数と最深積雪量	3

第2章 第2期環境基本計画の概要

第2期環境基本計画の概要

1 第2期環境基本計画とは	4
2 本市の望ましい環境像	4
3 「持続可能な開発目標（SDGs）」との関連について	5
4 環境基本計画の基本目標と個別目標	6
5 令和元年度 環境目標進捗状況一覧	7
6 市域全体の温室効果ガス排出量（推計値）状況一覧	8

第3章 環境基本計画に基づく事業 ～令和元年度 取組実績～

基本目標1 きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

個別目標1-1 空気や水がきれい安心して暮らせるまち	10
個別目標1-2 環境と生活スタイルが調和した快適なまち	12
個別目標1-3 放射能の不安のない安心なまち	14

特集「公害の現状と対策」

1 環境に関する苦情	16
2 大気汚染	17
3 水質汚濁	21
4 化学物質等の監視・調査	24
5 騒音・振動	26
6 悪臭	30

基本目標2 緑豊かで、住んでいて心地よく、 人と自然が共生するまちをつくる

個別目標2-1 豊かな自然環境を守り、育てるまち	34
--------------------------	----

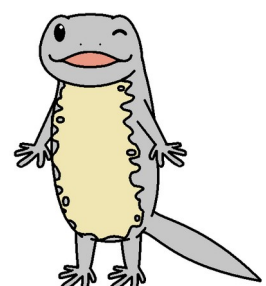
個別目標 2-2	美しい里山と農地を守り、活かすまち	38
個別目標 2-3	猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち ～猪苗代湖水環境保全推進計画～	40
特集	野生生物生息環境保全事業	42
特集	猪苗代湖環境保全推進事業	44
基本目標 3 地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる		
～地球温暖化対策実行計画（区域施策編）		
個別目標 3-1	再生可能エネルギーの地産地消ができるまち ～新エネルギービジョン・バイオマス活用推進計画～	54
個別目標 3-2	みんなでCO2を減らすまち	56
個別目標 3-3	再生可能エネルギーとICTを活用したまち	58
個別目標 3-4	「もったいない」が息づくまち	60
特集	市域における温室効果ガス排出量等の現状 ～「会津若松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」～	62
特集	再生可能エネルギー推進事業	68
特集	地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）の推進	74
特集	地域版環境マネジメントシステム	76
特集	電気自動車推進事業	78
基本目標 4 環境保全をともに学び協働するまちをつくる		
個別目標 4-1	みんなで考え、みんなで学ぶまち	81
個別目標 4-2	協働の輪を広げ、環境にやさしいまち	84
特集	環境フェスタの開催	86
特集	各種環境教室・環境講座・生涯学習出前講座の実施	87
特集	ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議/犬ふん放置防止の周知活動	90

第4章 環境行政組織

1	主な環境行政組織図	91
2	環境審議会	91
3	環境管理委員会	91

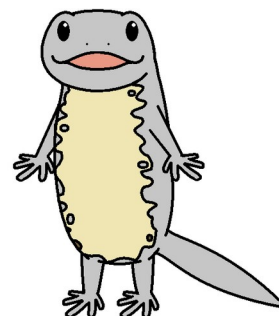
参考資料（目次は別途）	92
--------------------	----

ボク、会津若松市環境PR
大使のいいもりんです。
みんなで豊かな環境を守るモ
リン。



第1章 会津若松市の概況

はじめに、会津若松市を
取り巻く状況についてみ
てみるモリン。



会津若松市の概況

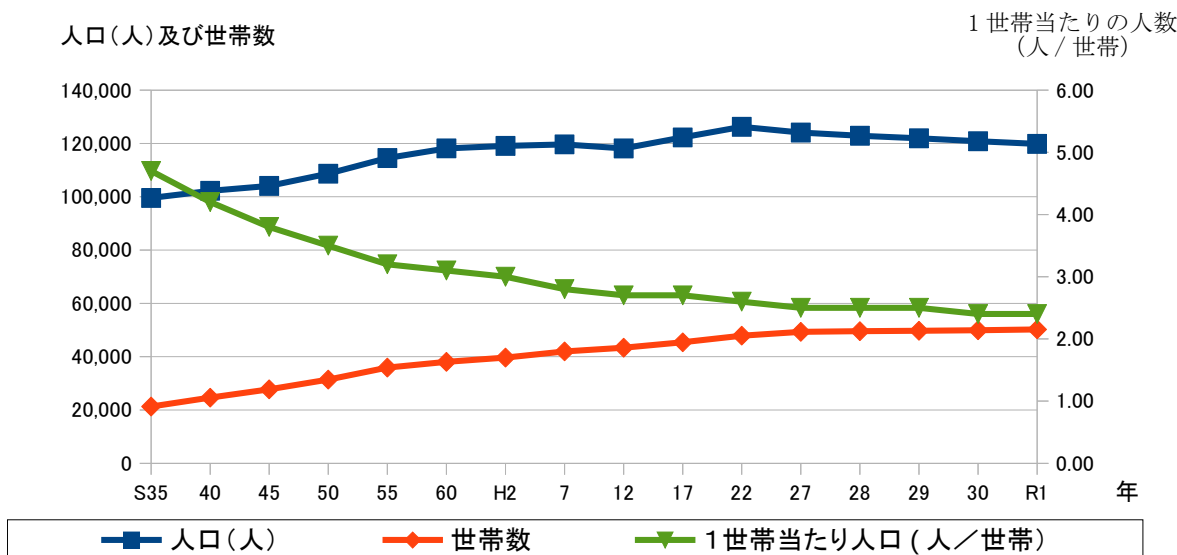
1. 地勢

本市は、福島県の西部、会津盆地の東南に位置し、東は猪苗代湖と接し、南は大戸岳、布引山など諸山岳を境とし、西は会津盆地を縦断する阿賀野川水系阿賀川（大川）を越え、市域面積は382.99km²です。市街地は東から西へ緩やかな傾斜を示し、その中心を阿賀野川水系湯川が流れ、阿賀川へ注いでいます。

2. 人口等

本市の人口は、国勢調査等によると平成16・17年の旧北会津村・河東町との合併により16,000人あまり増え、令和元年10月1日現在の人口は119,820人、世帯数は50,236世帯、1世帯あたりの人数は約2.4人です。

◆人口及び世帯数の推移



(資料：国勢調査及び會津データ蔵)

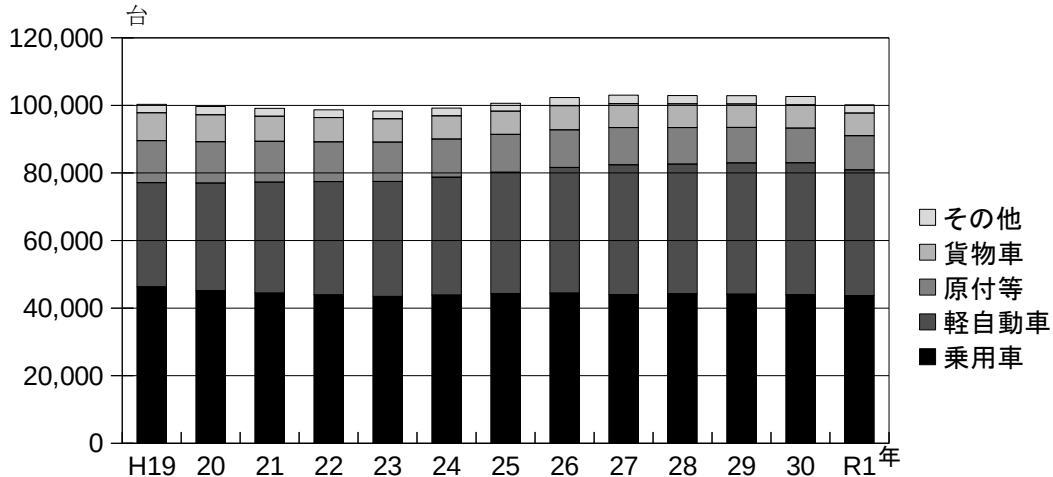
3. 交通

本市には、電車やバス等の公共交通機関もありますが、主に自家用自動車が市民の足となっています。乗用車と軽自動車の合計登録数はここ数年増加傾向にあり、令和元年度は100,141台でした。

市民およそ1.2人に1台の割合で、車両を保有していることとなります。



◆ 本市における自動車等登録台数の推移



※ その他…乗合用車両、(大型)特殊用途用車両

※ 原付等…原動機付き自転車、二輪の小型自動車、雪上車、小型の農耕用・特殊作業用車両

(資料：東北運輸局福島運輸支局及び市税務課)

4. 気候

本地域は、四方を山々に囲まれた盆地であるため、内陸盆地特有の気候を示し、冬季は日本海側の気候となって好天が少なく降雪量が多く、雪に閉ざされた寒い日が続きます。

しかし、夏季は反対に盆地特有の高温の日が続き、春、秋はこれに内陸性の気候条件も加わって、日中と夜間の気温差が大きくなります。

(1) 年間平均気温・日照時間・降水量

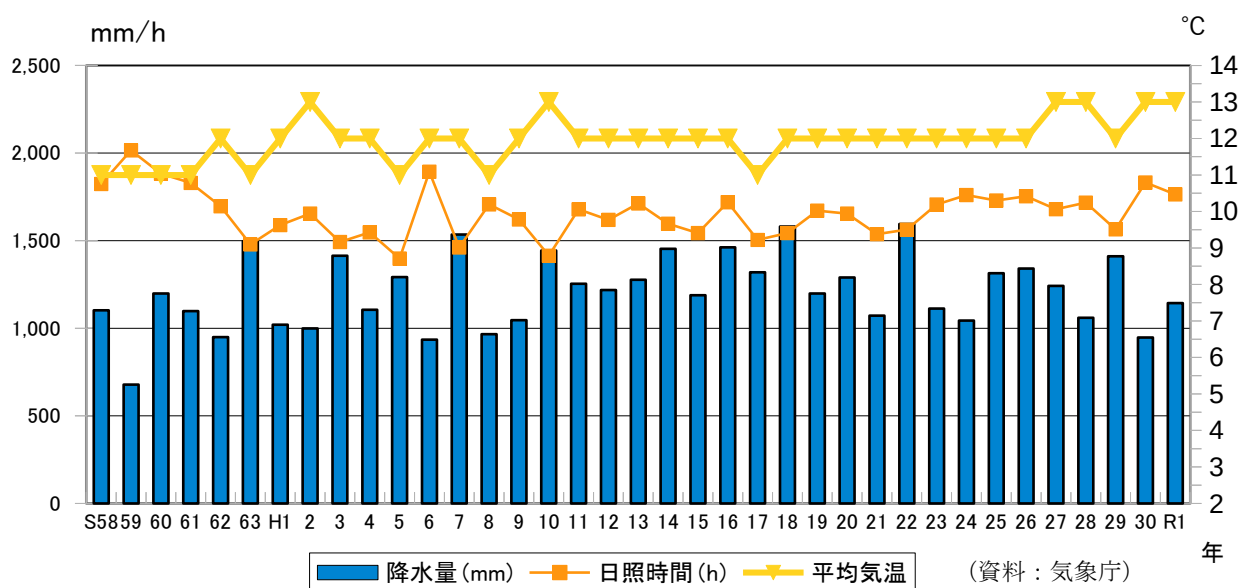
近年、最高・最低気温ともに高めに推移しており、最高気温は平成30年8月23日に38.5度を記録し、猛暑傾向が続いています。令和元年は、平均気温が12.8度、最高気温37.7度、最低気温-6.9度でした。

年間累積降水量は約1,200~1,300mmで、年により変動はありますが、比較的安定した降水量が続いています。年間を通した降水パターンは、6~9月の夏季に増加するのに加え、雪の多い冬季にも降水量が増加するのが特徴です。

令和元年の降水量は1,143mm、日照時間は1,763.9時間でした。



◆ 年間平均気温・日照時間・降水量



(2) 年間降雪日数と最深積雪量

降雪日数は年間 100 日程度で、過去 40 年間の最深積雪は 115cm（昭和 56 年及び平成 23 年）です。1 日の降雪量は、昭和 55 年 12 月 14 日の 98cm が過去最大の値です。

令和元年の降雪日数は 97 日、最深積雪は 29cm でした。

◆ 年間降雪量と最深積雪量

